



2022年（令和4年）2月4日

報道各位

第59回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール ラジオ広告部門 グランプリ受賞

株式会社大広（代表取締役社長：落合寛司、本社：東京都港区、以下「大広」）株式会社大広 WEDO（代表取締役社長執行役員：濱弘幸、本社：東京都港区、以下「大広 WEDO」）は、第59回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール ラジオ広告部門にて、当社が制作に携わった「パナソニック株式会社 Voice of Home 帰っておいでアナウンス（娘）篇」がグランプリを受賞いたしましたことをご報告いたします。企業の定時退社の取り組みを支援し、社会課題の解決につながるアイデアが評価され、受賞に至りました。

JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクールは、生活者視点から優れた広告を表彰することを通じて、時代に即したコミュニケーションの在り方を模索し、広告の健全なる発展に寄与することを目的に開催され、「感性」「理性」「創造性」の審査基準から優れた広告に贈られる賞です。100名の一般消費者審査員による一次審査、20名の一般消費者最終審査員によるグランプリ及びメダリスト審査会、有識者による経済産業大臣賞審査会の三段階の審査行程から受賞作品を選出。2020・2021年度は2年度分の作品の中から、経済産業大臣賞が1作品、グランプリが6部門から1作品ずつ選ばれました。

※受賞作に関する詳細は下記のとおりです。

<第59回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール ラジオ広告部門 グランプリ>

広告主：パナソニック株式会社

タイトル：Voice of Home 帰っておいでアナウンス（娘）篇

PROBLEM
世界有数の残業大国、日本。
世界と共に過ごす時間を少なく、心身の健康を損なうことなく、この残業削減を実現するため、多くの企業が毎週定時退社「ノー残業デー」をとり、社内放送で定時退社を広く周知させているが、社内に流れる音声は無機質なもので仕事中の従業員には放送の内容が耳に届かず、定時退社する従業員はごくわずかとなっている。

IDEA
無機質な放送に“命”を吹き込む。
音響にまつわる様々な技術を活かすパナソニックが目ざしたのは「家族の声、雑音などが混ざったような自然な音（雑音の再現）と“命”（声、笑い）とを融合して空間放送を促すアナウンスを制作、ノー残業デーにオフィス全体に放送した。それは無機質な音声に「命」を吹き込み、多くの従業員を中心に数々のプロジェクト。

RESULT
社員の約9割が定時退社への意向を示す結果に。
結果は想像以上のものに、定時からのアナウンスを聞いた従業員だけでなく、同じように家族を待つ多くの従業員も共感を得、会社での働き方を考えることになった。さらに、アナウンスを活用してラジオCMとして放送することで、全国の企業も自発的に取り始めるようになり、テレビCMに勝らず、家族の声だけで残業社会に安眠をもたらす、働くひととの健康を支えるこのアイデアは、なんとコストゼロ。今後、自らも広く展開していく。

<上記に関するお問い合わせ>

株式会社 大広 総務局広報チーム 〒105-8658 東京都港区芝 2-14-5 TEL：03-4346-7102

【第 59 回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール ラジオ広告部門 受賞作品】

パナソニック／企業（音響システム）／Voice of Home -帰っておいでアナウンス（娘）篇

SE：（オフィス環境音）

社内放送：今日は、ノー残業デーです。
定時退社へのご協力をお願いいたします。

M：♪～

NA：これは、とある会社で実際に流れる社内放送。
しかし定時退社する社員は、ごくわずか…。
そこで音響にまつわる様々な技術を追求するパナソニックが始めたのは、
無機質な社内放送に「命」を吹き込むプロジェクト。

SE：（オフィス環境音）（ピンポンパンポン♪）

娘：今日は、ノー残業デーです。
いつもママがお世話になっております。
ママは、お家でも頑張り屋です。
私の好きなミートスパゲッティを作ってくれたり、
私が寝てからもひとりでお片付けをしてくれます。
だから、みなさんも今日は家族とゆっくり過ごす日に見ませんか？
定時退社へのご協力をお願いいたします。

M：♪～

NA：この社内放送は、社員の家族からのアナウンス。

世の中を変えることができるのは、
テクノロジーだけじゃない。
きっと、家族の「声」だって。

これからも、心揺さぶる音を、世界へ。

CI：Panasonic ♪ ABetterLife, ABetterWorld ♪